

平成29年度

ほおの木っ子

喜多方市立第二小学校 学校だより
平成29年10月27日(金) 第10号
発行責任者 校長 石田 秀喜

<笑顔いっぱい/元気いっぱい/夢いっぱい ~やり続けて本物にしよう・コツコツがコツ!~>

適期・適作 ~ 育つべき時に 育てる ~

人間の体は、ある程度まで育つと成長がとまりますが、子どものころは、個人差はあるもののめざましい成長を見せます。ですから、靴や服、帽子などすぐに小さくなってしまいます。このことは、頭脳についても言えます。



「3歳ごろの子どもは、1日に大人の1年分の知識を吸収する」

と言われますし、頭脳の成長のピークは14~15歳で、20歳を過ぎたところから下り坂だと言われます。それだけに、この成長期真っ只中にある子どもたちに、「良書に親しむ」「運動で体を鍛える」、人との「かわり体験」をたくさん積むなどしながら、頭脳と心にたっぷり栄養をつけてあげたいと考えています。各学年・学級では、そのような学習活動を日々展開しているところです。

作物は蒔くべき時期に蒔いて、育つべき時期に育ち、収穫すべき時期に収穫となります。これを、「適期・適作」というそうですが、教育(=社会教育×家庭教育×学校教育)も、子どもの伸びる力を、伸びる時期に、精一杯伸ばしてあげることだと思っています。

「今日になり、菊作ろうと思いけり」という川柳があります。

よその家の菊がきれいに咲いているのを見て、急いで菊を作ろうと思っても無理だという内容でしょうか。

自分に挑戦! ~マラソン記録会(10/25)~ 監察や応援に心より感謝

台風21号による天候不順で、延期となっていた校内マラソン記録会を25日(水)に無事実施することができました。これまで子どもたちは、自分の目標を決め、朝や体育の時間に一生懸命に練習を重ねてきました。当日は、どの児童もこれまでの練習の成果を生かしそれぞれに自己ベストを発揮しました。結果については、各学年通信にてお知らせします。



脇腹が痛くなったり、息苦しかったり、脚がなかなか前に進まなくなっても、途中であきらめることなく走り抜く姿が数多く見られました。

中には、自己ベストがうまく発揮できず、目標が達成できなかった人もいます。大事なことは、それをどう受け止め、次からの取組に活かしていくかです。トップアスリートも、みんなその繰り返しと積み重ねをしているはずですよ。

□ 読み聞かせボランティア 募集します □

本校では、毎週水曜日のお昼休みに、ボランティアの皆さんに読み聞かせをしていただいております。このたび、ご協力いただける方を新たに大募集しております。本を通して子どもたちとふれあう時間を楽しんでいただければと思います。毎週でなくても、都合のつくときにお出でいただくような形で結構ですので、お気軽にご応募ください。



■■■ お問い合わせ・申込みは本校教頭まで電話で(☎22-0465) ■■■